

**新型コロナウイルス感染者等情
報把握・管理支援システム
(HER-SYS) について**

○新型コロナウイルス感染者等の情報（症状、行動歴等）を
電子的に入力、一元的に管理、関係者間で共有！

◆現場の保健所職員等の作業をIT化・ワンスオンリー化

（一度入力した情報を別途報告等する必要がなくなる。）

◆スマホ等を通じて患者が健康情報を入力

◆感染者等の状態変化を迅速に把握・対応



感染者等へのサポートの充実・安心

保健所・医療機関等の負担軽減

的確な対策立案のサポート

【新システム導入のメリット】



感染者・
濃厚接触者
【国民】

毎日、電話により健康状態を報告。
急変時に気づいてもらえないことも。

⇒ スマホ等により、簡単に報告可能に。
⇒ きめ細かな安否確認を受けられるように。



医師等

【発生届】手書き、FAXでの届出。

⇒ パソコン・タブレットで入力・報告が可能に。
※ 保健所がFAXをパソコンに入力する作業も減少。



保健所
都道府県・国
【行政】

電話・メール等により、感染者等の
情報を報告・共有。
保健所、都道府県、国が、それぞれ
感染者等の情報を入力・集計。
広域的な情報共有が不十分。

⇒ 患者本人や医療機関、保健所等が入力し
た患者情報が迅速に集計され、都道府県、
国まで共有可能に。
⇒ 入院調整の迅速化や、クラスター対策の
効率化が可能に。

【スケジュール】

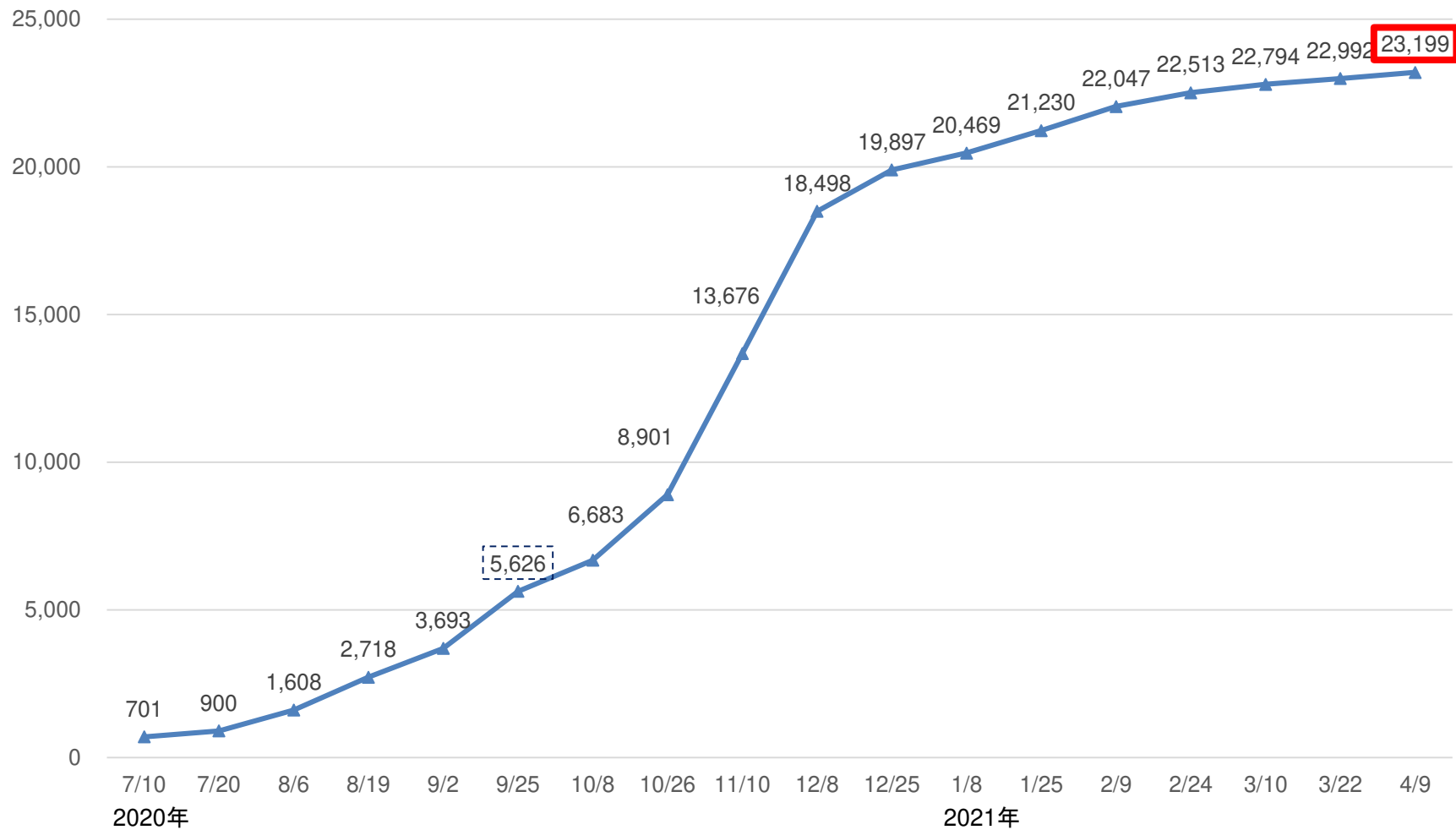
2020年5月15日～ 一部自治体で試行利用開始

2020年5月29日～ 全国で、準備が整った都道府県等・保健所・医療機関から順次利用開始。

※ 2020年9月10日現在、全保健所自治体（155）で利用開始。

HER-SYS ID保有医療機関数（外来）の推移

- 外来医療機関に対するHER-SYSのID発行数は、4/9時点で約2.3万。
- 昨年9月末（半年前）との比較では、4倍以上の医療機関にIDを付与している。



発生届の様式

別記様式 6-1

新型コロナウイルス感染症 発生届

都道府県知事（保健所設置市長・特別区長） 殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項（同条第8項において準用する場合を含む。）の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日 令和 年 月 日

医師の氏名 _____
 従事する病院・診療所の名称 _____
 上記病院・診療所の所在地(※) _____
 電話番号(※) () _____

(※病院・診療所に従事していない医師にあっては、その住所・電話番号を記載)

1 診断（検索）した者（死体）の類型					
・患者（確定例）・無症状病原体保有者・疑似症患者（*）・感染症死亡者の死体・感染症死亡疑い者の死体（*）疑似症患者について、当該者が入院を要しないと認められる場合は、本発生届の提出は不要。					
2 当該者氏名（フリガナ）	3 性別	4 生年月日	5 診断時の年齢(0歳は月齢)	6 当該者職業	
	男・女	年 月 日	歳 (月)		
7 当該者住所	電話 () _____				
8 当該者所在地	電話 () _____				
9 保護者氏名	10 保護者住所	(9、10は患者が未成年の場合のみ記入)			
		電話 () _____			

11 症状	<ul style="list-style-type: none"> 発熱 咳 咳以外の急性呼吸器症状 肺炎像 重篤な肺炎 急性呼吸窮乏症候群 多臓器不全 全身倦怠感 頭痛 嘔気/嘔吐 下痢 結膜炎 嗅覚・味覚障害 酸素飽和度(室内気): % その他 ()・症状なし 	18 感染原因・感染経路・感染地域
	<ul style="list-style-type: none"> 分離・同定による病原体の検出 検体: 喀痰、気管吸引液、肺胞洗浄液、咽頭拭い液、鼻腔吸引液、鼻腔拭い液、鼻咽頭拭い液、便、唾液、剖検材料、その他 () 検体採取日 (月 日) 結果 (陽性・陰性) 検体から核酸増幅法(PCR法 LAMP法など)による病原体遺伝子の検出 検体: 喀痰、気管吸引液、肺胞洗浄液、咽頭拭い液、鼻腔吸引液、鼻腔拭い液、鼻咽頭拭い液、便、唾液、剖検材料、その他 () 検体採取日 (月 日) 結果 (陽性・陰性) 抗原定性検査による病原体の抗原の検出 検体: 鼻腔拭い液、鼻咽頭拭い液 検体採取日 (月 日) 結果 (陽性・陰性) 抗原定量検査による病原体の抗原の検出 検体: 鼻腔拭い液、鼻咽頭拭い液、唾液 検体採取日 (月 日) 結果 (陽性・陰性) 	
12 診断方法		<ul style="list-style-type: none"> ①感染原因・感染経路(確定・推定) <ul style="list-style-type: none"> 1 飛沫・飛沫核感染(感染源の種類・状況:) 2 接触感染(接触した人・物の種類・状況:) 3 その他 () ②感染地域(確定・推定) <ul style="list-style-type: none"> 1 日本国内 (都道府県 市区町村) 2 国外 (国) 詳細地域 () ※複数の国又は地域該当する場合は全て記載すること。 渡航期間(出国日 年 月 日・入国日 年 月 日 国外居住者については、入国日のみで可) ③新型コロナウイルスワクチン接種歴 <ul style="list-style-type: none"> 1 回目 有 (歳)・無・不明 ワクチンの種類/製造会社 () / (不明) 接種年月日(R 年 月 日・不明) 2 回目 有 (歳)・無・不明 ワクチンの種類/製造会社 () / (不明) 接種年月日(R 年 月 日・不明)
13 初診年月日	令和 年 月 日	19 その他感染症のまん延の防止及び当該者の医療のために医師が必要と認める事項
14 診断(検索(※))年月日	令和 年 月 日	
15 感染したと推定される年月日	令和 年 月 日	
16 発病年月日(*)	令和 年 月 日	
17 死亡年月日(※)	令和 年 月 日	

この届出は診断後直ちに行ってください

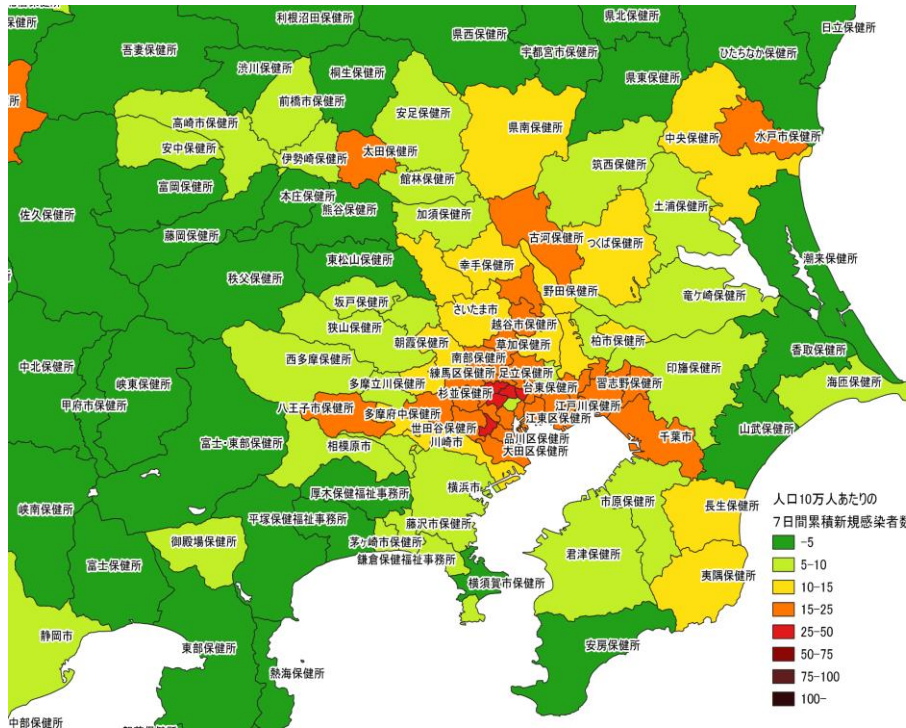
(1, 3, 11, 12, 18 欄は該当する番号等を○で囲み、4, 5, 13 から 17 欄は年齢、年月日を記入すること。
 (※)欄は、死亡者を検索した場合のみ記入すること。(*)欄は、患者(確定例)を診断した場合のみ記入すること。11, 12 欄は、該当するものすべてを記載すること。)

HER-SYSデータの活用例

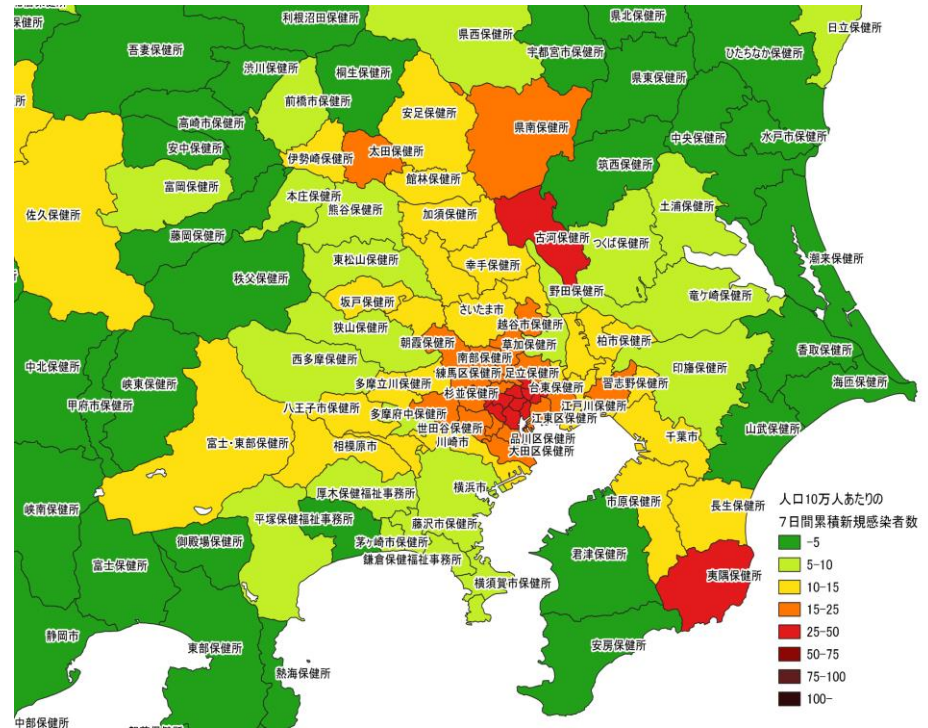
○ HER-SYSで集計されたデータは、厚生労働省の新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボードにおける議論にも活用されている。

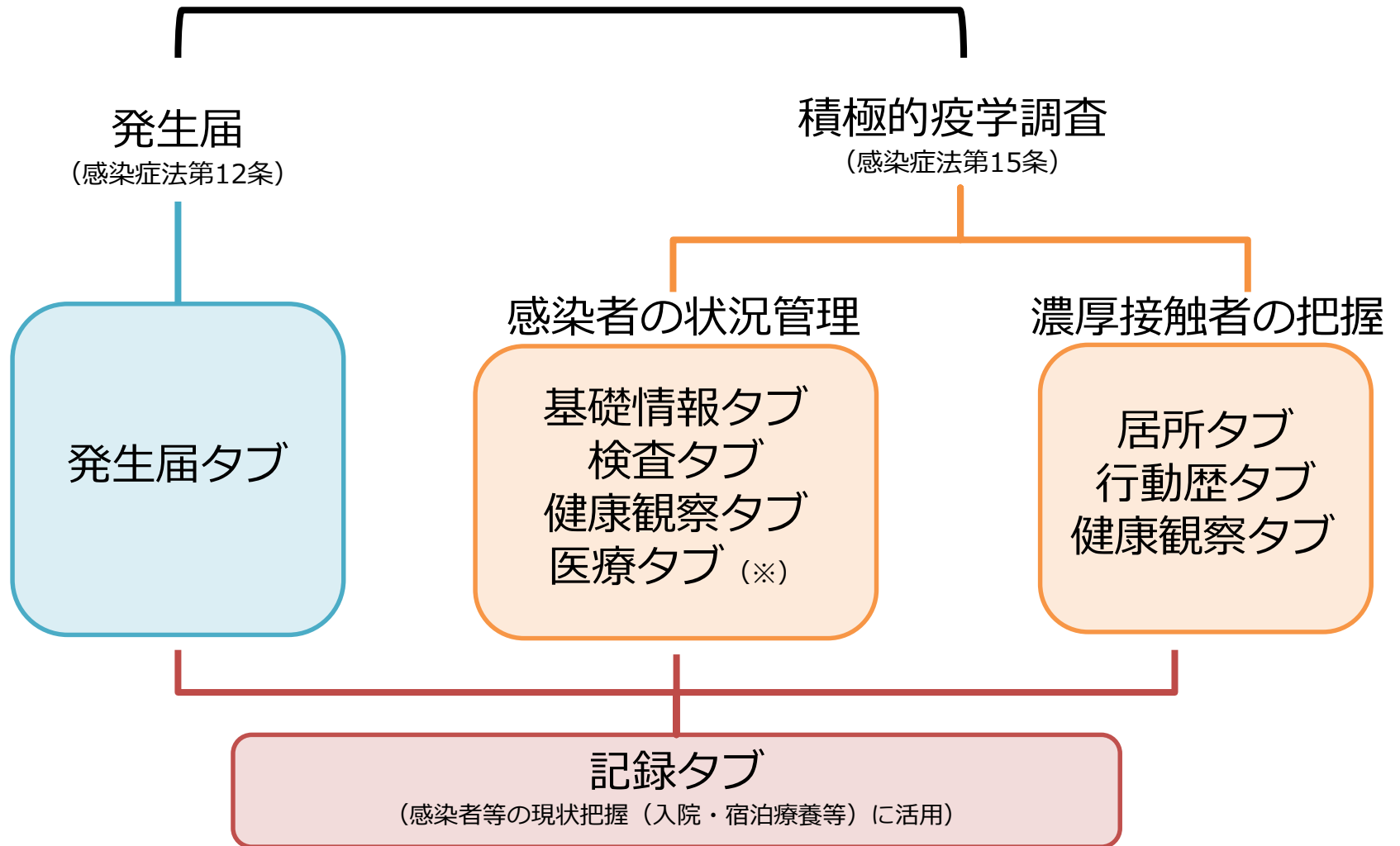
人口10万人あたりの7日間累積新規感染者数マップ 首都圏（HER-SYS情報）

3/22~3/28



3/29~4/4 (参考)





(※) 健康観察タブは宿泊療養・自宅療養者を対象に活用、医療タブは入院者を対象に活用

- HER-SYSは、患者(疑似症患者を含む。)及び濃厚接触者に関する情報を把握・管理するためのシステム。
- 医療機関や保健所等の複数の関係者が入力を行うことができ、業務に必要な範囲において、閲覧権限が与えられる。保健所は全ての情報の入力・閲覧が可能。

1. 基本情報 主に外来医療機関又は保健所が入力

- ・ 氏名、生年月日、性別、住所／所在地、連絡先等
- ・ 福祉部門との連携要否
- ・ 高齢者等である同居家族の有無
- ・ 担当保健所、関係保健所

2 検査・診断に関する情報 主に外来医療機関が入力

- ・ 発病日、症状(発熱、咳等)
- ・ 基礎疾患の有無等
- ・ 検査記録(検体採取日、結果判明日、結果内容等)
- ・ 発生届の情報(※)

3 措置等の情報 主に入院医療機関、保健所、患者等本人(健康状態のみ)が入力

- ・ 入退院日、初診日、胸部X線・胸部CTの所見、ICU・人工呼吸器・ECMO利用状況、死亡日
- ・ 現在のステータス(濃厚接触者/入院中/入院中(重症)/宿泊療養中/自宅療養中 等)
- ・ 健康観察情報(日時、体温、咳・鼻水、息苦しさ、全身倦怠感等)
- ・ 緊急搬送先医療機関・かかりつけ医療機関等の名称等

4. 積極的疫学調査関連情報 主に保健所が入力

- ・ 行動歴
- ・ 接触者情報
- ・ 感染リンクの有無(※発生届項目)
- ・ 感染経路情報(※発生届項目)

※発生届における主な記載項目

- ・ 患者の氏名等
- ・ 診断分類(確定患者/疑似症等)
- ・ 症状(発熱、咳、肺炎像等)
- ・ 診断方法(検体採取日、結果等)、診断日、発病日
- ・ 感染経路・感染地域
- ・ 届出時点の入院の有無 等